

## 第1 ヴァイオリン

## 五十嵐 さやか

Sayaka Igarashi

## 小4でチェロを始め、小5でヴァイオリンに

## Q. 楽器を始めたきっかけは？

幼い頃から、家ではいつもクラシックが流れていました。遊びのひとつとして、その曲が何拍子なのか、また、誰が作曲したのかを当てるクイズのようなことをしていた記憶があります。ピアノを5歳から始めましたが、1年で先生が転勤になってしまいました。その後、小学校4年から学校の管弦楽部に入り、チェロをやった？という両親の勧めでチェロを買ってもらい弾き始めました。周りにヴァイオリンを習っている子が多くて（元山響コンサートマスターの執行さんも小・中と一緒に同じ管弦楽部に所属）、ヴァイオリンはできなかったのですが、やっぱりヴァイオリンを弾きたくなって、小学校5年から、ヴァイオリンのレッスンに通わせてもらいました。そしたら、先生が怖くて怖くていつも下を見ていたので、先生のキラキラしたスリッパしか覚えていません（笑）。なにしろヴァイオリンを始めたのが遅かったので、先生からは「あなたは人より遅くから始めたから、やるべきことがたくさんあるのよ!」といつも言われていたのを思い出します。今考えると、チェロもヴァイオリンも買ってもらい、両親には感謝です。中学校も管弦楽部、高校は音楽科のある学校に入学しました。

## Q. オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは？

両親が音楽の教員で、父が管弦楽部、母が合唱部の顧問をしていました。私が通った小・中・高校にはオーケストラ部がありましたし、大学ではより専門的に学び、オーケストラはずーっと身近にあって、自然と憧れが強くなっていったように思います。

## Q. 好きな作曲家・曲は？

それぞれに良さがあるから、これって決めるのは難しいんだけど…心地良いと思うのは、ラヴェル。ピアノ曲も好きです。ラヴェルのピアノ協奏曲の第2楽章は♡♡♡となります。

## Q. 山響に入団して思い出に残っているエピソードは？

入団した年の山響の芋煮会で、子猫を拾ったんです。ほんとに小っちゃい子猫で。今も、実家で元気に過ごしています。今年20歳のおじいちゃん。私も山響で20年経つんだあって実感しますね。

## Q. ヴァイオリンの魅力は何ですか？

弦楽器全般に言えますが、長いフレーズで弾けるところ。また、音程を自分で操れるところ。微妙に、繊細に、音程を弾き分けられるところ。それが難しさでもあるのですが…。それからなんと言っても音色ですね。

## Q. 好きなヴァイオリン奏者は？

ヴィクトリア・ムローヴァ。丹念な演奏で、なんて言うのかな…私にとって、とても心地良い音。是非聴いてみてください。

## Q. 山形でお気に入りのものや食べ物などがありますか？

あまり山に馴染みがない千葉で育った私には、四季の変化が感じられる山が四方にあることが癒しです。それから、山形に来て、お肉が食べられるようになりました。美味しいですね。あとはやっぱり「人」が好きです。最初に山形弁を聞いたときは、なんだか怒ってるように聞こえて怖かったのを思い出しますが、話をしてみたり親しくなると、実はとっても優しく、温かい人が多いことがわかりました。

## Q. 休みの日は何をして過ごしていますか？趣味はなんですか？

これと言って趣味はないのですが、夢中になれるのは、整理整頓（笑）。スイッチが入ると楽しくなって、平気で3~4時間経っていたりします。どんどん綺麗になるのが気持ち良くて。そして、それを眺めながらビールを飲むのが好き！更に次の日も眺めちゃう（笑）。そんなことを主人の実家でもやってしまうので、姑は「嫁がやって来る～」と言って、私が到着する前にせっせと片づけをしているそうです。姑は普通は逆だよねと言っていつも笑わせてくれます。

## Q. 最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

いつも温かい拍手に励まされ、また心温まるお言葉をお頂戴することもあり感謝しております。これからも多くの方々にお楽しみいただけますよう、またご期待に添えるよう努めて参ります。本日もお越しくさり、ありがとうございました。